

テーマ展

大坂城再築

令和7年

3.20-5.6

[木・祝日]

[火・振替休日]

開館時間／午前9時～午後5時

※入館は閉館の30分前まで

入館料／600円(中学生以下無料)

(注意) 令和7年3月31日(月)までの開館時間と入館料です。

Special Exhibition
The Reconstruction of Osaka Castle

令和7年4月1日(火)から
大阪城天守閣の開館時間と
入館料が変わります

■ 令和7年4月1日からの開館時間

午前9時～午後6時

※入館は閉館の30分前まで

■ 令和7年4月1日からの入館料

(「大阪城 豊臣石垣館」を含む)

大 人 1,200円

大学生／高校生 600円(要証明)

中学生以下 無料(要証明)

大阪城天守閣
Osaka Castle Museum

[交通] ◆Osaka Metro

◆J R
◆京阪電車
◆近鉄電車

[谷町線] 谷町四丁目駅・天満橋駅 [中央線] 谷町四丁目駅・森ノ宮駅

[長堀鶴見緑地線] 森ノ宮駅・大阪ビジネスパーク駅

[大阪環状線] 森ノ宮駅・大阪城公園駅 [JR東西線] 大阪城北詰駅

天満橋駅・京橋駅

鶴橋駅乗換、JR森ノ宮駅または大阪城公園駅

Tel : 06-6941-3044

<https://www.osakacastle.net/>

ごあんない

大阪城天守閣では、今年4月の「大阪城 豊臣石垣館」の開館に合わせ、大阪城の歴史に焦点を当てた展覧会を開催します。取り上げるのは、元和6年(1620)、徳川幕府第2代将軍秀忠の命により築城が始まった徳川再築の大坂城です。本展では、豊臣の大坂城や大坂の町にも注目しながら、幕府の大坂城再築がどのようにして進められたのか、徳川の大坂城がどのように管理されていたのか、新収蔵資料を交えて探ってゆきます。

(背景) 江戸長崎名所旧跡図巻 下

大坂城・尼崎城・岸和田城部分 大阪城天守閣蔵

江戸と長崎とのあいだにある主な町や名所などを描いた絵巻で、作者は江戸時代前期の画家狩野常信と推定される。尼崎城と岸和田城には、大坂城を守る役割があった。



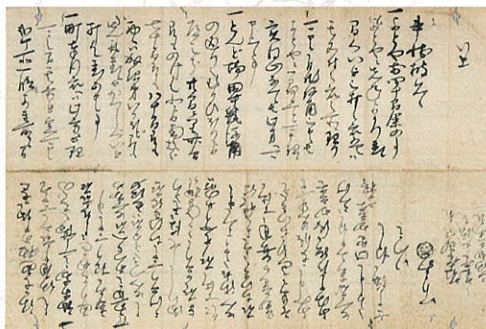
いし びき せ びやう ぶ
石曳図屏風 大阪城天守閣蔵

巨石を運ぶ様子を描いた屏風絵。石のうでで号令する者も、それを見物する者も、しゃれた身なりをしている。



いまいやぐら わ ちがいがわら
大坂城乾櫓輪違瓦 大阪城天守閣保管

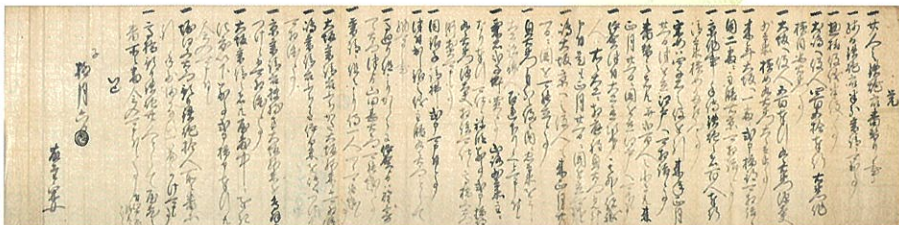
大阪城公園内の西の丸庭園に建つ乾櫓に取り付けられていた瓦で、昭和34年(1959)に完了した解体修理のときに発見された。「元和六年」(1620)の文字が刻まれている。



藤堂高虎黒印状 (元和6年)8月5日付

藤堂式部等3名宛 大阪城天守閣蔵

徳川幕府による大坂城再築の工事が始まった元和6年(1620)、石垣工事に動員された大名藤堂高虎が家臣に送った手紙。大坂での石置き場の確保などに躍起になっている様子を伝える。



藤堂高虎黒印覚 (寛永元年)極月6日付 藤堂采女宛 大阪城天守閣蔵

大坂城の本丸工事が始まった寛永元年(1624)に、藤堂高虎が家臣に送った指示書。石の産地だった瀬戸内海の犬島と、大坂や京都への人の手配などについて命じている。

重要文化財 大阪城の櫓 YAGURA 特別公開

■ 多聞櫓・千貫櫓の2棟公開

期 間 令和7年3月1日(土)～3月30日(日)までの間の土曜日・日曜日・祝日、及び 3月25日(火)～3月28日(金)

入場料 大人〈高校生以上〉800円 小人〈中学生以下〉300円

■ 多聞櫓・千貫櫓・乾櫓の3棟公開

期 間 令和7年4月1日(火)～5月6日(火) ※西の丸庭園休園日(平日の月曜日)は公開なし

入場料 大人〈高校生以上〉1,500円 小人〈中学生以下〉500円

公開時間やお得な天守閣セット券などの詳細は大阪城公園のホームページでご確認ください。

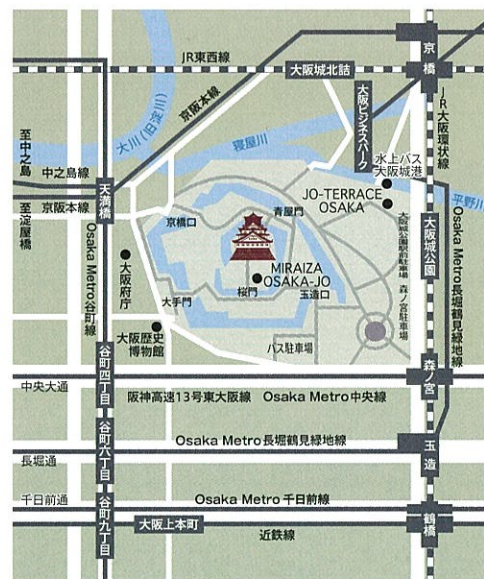
<https://www.osakacastlepark.jp/>



ほん こぞね こん いとおしに まい どう ぐ せく 本小札紺糸威二枚胴具足

大阪城天守閣蔵

20年余りにわたって大坂城代を務めた譜代大名阿部正次のよろい。大坂城代は大坂城や町の幕府諸役人を束ね、西日本の大名を監視する幕府の重職だった。



大阪城天守閣

〒540-0002 大阪市中央区大阪城1-1
TEL 06-6941-3044 FAX 06-6941-2197
URL <https://www.osakacastle.net/>